

令和6年度大学院入学試験 筆記試験代替問題 (中期募集)

教育実践高度化専攻 学校教育実践研究コース (学校経営・学校心理領域)

- 1 筆記試験に代えて評価する項目をあらかじめ設定し、口述試験の中で試問するものです。なお、以下のとおり試問を行いました。

以下の3問から1問を選び、10分以内で解答を考えなさい（その際、適宜メモ用紙を使用して良い）。その後口頭で解答を求めます。

問題1

現代の知識基盤社会においてリカレント教育が必要な理由を、具体的な例を挙げながら述べなさい。（教育学）

問題2

2023年4月に施行された「こども基本法」が成立した背景について説明しなさい。また、この法律の基本理念を踏まえ、学校は、どのようなことを改善・充実すればよいか、あなたの考えを述べなさい。（教育学）

問題3

文章を読むときに働いている認知機能として、ワーキングメモリ（作業記憶）がある。この記憶はどのような構成要素からなり、文章を読む際にそれらの構成要素が具体的にどのように機能しているかを説明しなさい。（心理学）

- 2 学生募集要項「7 入試方法」では、筆記試験に代えて評価する項目に関して、以下のように記載しています。

筆記試験に代えて、教育学または心理学の基礎的な知識及びコースにかかわる専門分野についての研究内容に関しても試問する。

※ 試験当日は、上記の内容について試問を行いました。